

# 京都フィロムジカ管弦楽団

Kyoto Philomusica Orchestra

## 第41回定期演奏会

ホルスト/サマーセット・ラプソディ

Gustav Holst: Somerset Rhapsody

ゲーゼ/交響曲第8番

Niels Gade: Symphonien nr. 8

エルガー/エニグマ変奏曲

Edward Elgar: Enigma Variations



指揮 滝本 秀信



文化で滋養を元気に!

KYOTO  
ART  
CENTER  
京都芸術センター  
京都芸術センター  
制作支援事業

2017年6月25日(日) 午後1時開場 2時開演  
1時15分よりロビーコンサートを開催いたします

大津市民会館(大ホール)

JR大津駅(北口)・徒歩10分  
京阪(石山坂本線)島ノ関駅・徒歩5分

前売券800円(当日券900円)全自由席

【チケット取り扱い】

京都芸術センター(窓口販売のみ10:00-20:00)

JEUGIA三条本店(APEX管楽器、APEX弦楽器)

大津市民会館(077-525-1234)

びわ湖大津観光案内所(石山駅077-534-0706、

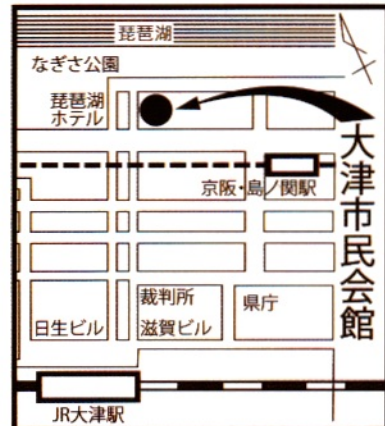
堅田駅077-573-1000)

※ホームページでのご予約も可能です

<http://www.kyotophilos.com/>

【お問合せ】070-6506-4032

[ticket@kyotophilos.com](mailto:ticket@kyotophilos.com)



【後援】

滋賀県 滋賀県教育委員会  
大津市 大津市教育委員会

びわ湖放送

株式会社ZTV滋賀放送局

株式会社しがぎん経済文化センター

- ・ 駐車場はありません。お車でのご来場は固くお断りいたします。
- ・ 乳幼児等就学前のお子様のご同伴、ご入場は固くお断りいたします。
- ・ 係員の指示に従っていただけない場合はご退場いただくことがあります。

今回の演奏会は、大陸ヨーロッパを少し離れ、北海の島国の音楽が演奏されます。

1曲目は、組曲『惑星』で有名なイギリスのグスターヴ・ホルストが書いた『サマーセット・ラブソディー』。ホルストの出世作というべき若き日の作品で、イングランド南西部サマーセット地方の民謡を素材にした逸品です。牛や羊が群れる平原のような穏やかさ、どこか恍惚とした舞曲など、短い曲の中に多様な魅力が凝縮されています。そして、『惑星』（なかでも「金星」）を先取りしたような神秘的な響きも魅力です。

2曲目は、北欧の海を席卷した海洋王国デンマークから、ネルス・ゲーゼ（ガーデ、ガーゼとも表記されます）の交響曲第8番。ゲーゼは日本ではほとんど知名度がありませんが、メンデルスゾーンやシューマンと親交を結び、ドイツに渡って指揮者や教授としても活躍した大音楽家です。交響曲第8番はゲーゼ晩年の作品で、ドイツ音楽的な無駄のない構築美の中に、北欧音楽らしい情熱がしなやかに流れる独創的な作品です。初めて聴く人も必ずや魅了されることでしょう。

最後はふたたびイギリスに戻り、今もイギリス音楽の復興者として尊敬を集めるエドワード・エルガーの出世作『エニグマ変奏曲』。遅咲きの苦勞人エルガーは作曲時すでに41歳。音楽の変化の面白さ、気宇壮大な響きが大人びた気品に彩られて展開されます。「エニグマ（謎）」という曲名にも惹かれるものがあります。

エルガーの音楽はドイツ音楽からの影響が強く感じられるのに対し、ホルストは民謡や非ヨーロッパ的要素を取り込むことで音楽の新しい可能性を志向しています。エルガーとホルストは同じイギリスで活躍した同時代人（没年も同じ）ですが、その個性は全く異なっており、非常に興味深いプログラミングと言えます。

指揮は第1回定期以来、数多くフィロムジカを指揮してきた滝本秀信氏。特に36回定期でのエルガー序曲『コケイン』は、作曲者とロンドンの街への深い共感に満ちた演奏で聴衆を魅了しました。今回のエルガーも作品への愛情に満ちた演奏になるに違いありません。

**指揮 滝本 秀信** (たきもと ひでのぶ)

指揮法を伊吹新一氏に師事。国外においてオーケストラ指揮の研鑽を積み、フルト・レーデル（イタリア・レスピーギ音楽院）、リヒルト・エデリンガー（ウィーン国立音楽大学）、アレクサンドル・ヴェデルニコフ、レオニード・ニコラエフ、イーゴル・シュテツグマン（モスクワ国立音楽院）、アレクサンドル・カントロフ（サンクトペテルブルク・バレエ・シアター）各氏に師事。ロシアへは度々渡り、リムスキー＝コルサコフ『交響組曲シェヘラザード』、チャイコフスキー『交響曲第5番』他を次々に指揮し好評を博す。これまでに、ロシア国立サンクトペテルブルク・シンフォニー・オーケストラ「クラシカ」、同市バレエ・シアター・オーケストラ、ブルガリア国立ブラツァ・フィルハーモニー・オーケストラ、同国バザルジク・フィルハーモニック・オーケストラ、チェコ共和国西ボヘミア交響楽団、京都フィロムジカ管弦楽団、墨染交響楽団、ウイングフィルハーモニー管弦楽団、堺フィルハーモニー交響楽団、あじさい管弦楽団、名古屋工業大学管弦楽団、福井大学交響楽団、大阪市立大学交響楽団、龍谷大学交響楽団、京響市民合唱団、合唱団コールピーポー他、数多くの管弦楽団・吹奏楽団・合唱団の指揮をする。

**管弦楽 京都フィロムジカ管弦楽団**

1996年創立。知名度の低い傑作に光を当てる斬新な選曲を身上としており、日本初演・関西初演も多く手がける。遠く北海道や九州からも聴衆が駆けつけるなど、その姿勢は全国的に注目されている。また、若々しい熱気を前面に出した激しい演奏に定評がある。年2回の定期演奏会のほか、依頼を受けての演奏会も精力的にこなす。特定の母体を持たない珍しいアマチュアオーケストラで、団員の本業や出身地は様々であり、東北や東海など遠方在住の参加者もいる。学生オーケストラの経験のない人や大人になってから楽器を始めた人など楽器歴も様々に異なる奏者たちが集って音楽を作り上げている。団名の「フィロムジカ」は、「音楽を愛する」という意味の造語である。

## 新 入 団 員 大 募 集 中

私たちと一緒に演奏しませんか？お気軽に練習にお越しください。団員一同お待ちしております！  
遠方からの参加も歓迎します。関西地区以外の方々もご興味があればぜひご連絡ください！

●募集パート ヴァイオリン・ヴィオラ・チェロ・コントラバス **(ヴァイオリン・ヴィオラ急募!!)**

オーボエ・ファゴット・トロンボーン / 打楽器 (打楽器は諸条件について要相談)

(参加資格) 特にありませんが練習に出席できること。学生の参加も歓迎します。

(練習日時) 原則日曜日 (午後1～5時)、春と秋に合宿練習 (大津市内)

(練習場所) 京都芸術センター、河原町丸太町、伏見区など京都市内の各所、大津市など。

(諸費用) 団費3000円/月 (学生は1000円)、演奏会参加費など

※遠方からの参加者には割引制度あり (ご相談ください)

京都フィロムジカ管弦楽団では、2018年度冬季の演奏会で、ブルックナーの大曲・交響曲第5番の演奏を目指しており、それに向けて団員を増強しています。一緒に演奏したい！ という多くの皆様のご参加をお待ちいたしております。

Webサイト (<http://www.kyotophilos.com/>) では、過去の演奏曲も紹介しております。是非一度ご覧ください。

入団・見学に関するお問い合わせ先 E-mail: [recruit@kyotophilos.com](mailto:recruit@kyotophilos.com)

<お知らせ> 京都フィロムジカ管弦楽団 第42回定期演奏会 2018年1月21日(日) 八幡市文化センター